

人を伸ばし、
人を活かす
企業風土づくり
はばたく



キッズハーモニー・新宿

「事業所内保育所の設置」について

JR東日本グループでは、社内外の変化に対応し、社員の働き方や仕事の見直しを進める上で、多様な社員が自律した働き方とキャリア形成ができる企業風土づくりが必要であると考え、これまで両立支援制度の充実などさまざまな取組みを進めてきました。現在は、2016年4月施行の女性活躍推進法「一般事業主行動計画」に基づき、採用に占める女性の割合、女性管理職比率の増加、多様な働き方を実現するための環境整備などに取り組んでいます。社員の多くが不規則な勤務で働いていますが、さまざまなライフイベント期にあっても活躍することができる企業をめざし、その取組みの一環として、新たな事業所内保育所の開設に積極的に取り組んでいます。

◎現在の状況

2010年2月から、「育児休職からの復帰支援」、「不規則勤務における就業支援」、「優秀な人材の確保と定着」などを目的として、これまで4か所の事業所内保育所（JR東京総合病院、仙台市内、東京支社ビル、JR南新宿ビル）を設置してきました。不規則な勤務にも対応するため、24時間保育日も設定しています。さらに首都圏では、通勤時の負担軽減を考慮して、おむつ・ミルクのサービスや洗濯代行なども行っています。

2013年4月には、うち1園を多くの企業と共同利用が可能なダイバーシティ型保育園「キッズハーモニー・新宿」へと転換しました。ここでは、これまで当社が進めてきた駅型保育園のノウハウを活かし、自治体の要請に応え地域の子どもの受け入れも行っています。

現在の東京、仙台に加えて、今後も、東日本エリア内の各地域に事業所内保育所の開設を積極的に進めていきます。



ぽっぽランドせんだい

VOICE

仙台支社 仙台運輸区 主務車掌

門脇 由香

◎働き方をマネジメントする

仕事とワークスタイル

私は2016年5月から、新人車掌養成など車掌の指導業務を担当しています。社員一人ひとりの性格やバックグラウンドを把握し、育成計画を立てるため、マニュアルにはない難しさと、楽しさを感じながら仕事をしています。車掌が一人前になっていく過程は、育児と通じるものがあり、私の育児経験を活かせると感じています。

育児と仕事を両立するにあたり、自分と子どもの“ペースを考える”ことを心がけています。ただ、子どもを優先しすぎて、子どもにとってプレッシャーにつながるのも、仕事と育児のバランスが大切であると考えています。

ぼっぼランドせんだいの利用

職場の先輩社員からのアドバイスもあり、ぼっぼランドせんだいに子どもを預け、復職することにしました。復職後も乗務員の仕事を続けたいと考えていたため、緊急時の対応や、延長保育のことを考え、鉄道の仕事を理解している事業所内保育所の方が、協力を得やすいという点が、ぼっぼランドせんだいに決めた最も大きな理由です。

また、すぐ近くに職場やJR仙台病院があるので、子どもも私も安心して利用することができています。

仕事と育児を両立していくために

当社は、事業所内保育所だけでなく、制度も整っていると思います。私自身は、フルタイムで働くことが自分の生活のリズムにも合っていると考えフルタイムで復職しました。しかし、なかなか思い通りにならないこともあります。育児の関係で急遽帰らなければならないときなどは、職場の上司・同僚から「帰っても大丈夫だよ」という温かい声をかけてもらい、大変感謝しています。常に感謝の気持ちを持ちながら働くことが、仕事と育児を両立していくポイントだと思います。

周囲の応援を得て、制度に頼りすぎないように、自分の生活スタイルに合わせた働き方をチョイスすることが大切だと思います。



東京支社 高円寺駅 営業指導係

横田 友希

◎子どもとともに成長していく

仕事とワークスタイル

私は復職してから、自動券売機のご案内、車いすのお客さまのご案内、出札や改札業務のフォローなどの仕事をしています。いろいろらせていただいているので、どうすればもっとご利用になりやすい駅になるか、若手社員や管理者の方をもっとフォローできるかなどを考え、日々やりがいを感じて仕事をしています。

私が育児をしながら仕事をしていることについては、職場の上司・同僚がとてもよく理解してくれています。「今日はお迎えの日だよね」「子どもはどう」と温かい声をかけてくれ、本当に感謝しています。夫とは、交代で保育園の送迎をしたり、家事を分担したりと、協力しながら仕事と育児に向き合っていますが、職場と夫の理解・協力があっとうまく両立できていると思います。

キッズハーモニー・新宿の利用

復職に際して、自宅の最寄り保育園を探していましたが、なかなか決まらなかった時、駅長からキッズハーモニー・新宿のことを教えていただきました。ここを選んだ最大の理由は、保育園が社員の仕事を理解してくれていることです。また、大都会のど真ん中に園庭があるのも新鮮に感じました。送迎で通勤列車に乗車していますが、子どもが車窓の風景を見ておとなしくしてくれているので助かっています。保育士の方からも、仕事の状況を踏まえたお声かけをしていただき、とてもありがたく感じています。

仕事と育児を両立していくために

早期の復職を希望していたので、休職中も子どもを連れて月に一回くらいは職場に顔を出すようにしていました。実際に復職後も、職場の皆さんからサポートしていただき、毎日の仕事もとても充実しています。育児をするだけでなく、楽しく仕事ができることで、相乗効果が現れていると感じています。子どもと一緒に自分自身も成長していくことが、私にとっての「仕事と育児の両立」であると考えています。



関連記事についてはP93～95をご参照ください。▼